

# 町田通勤寮だより

NO 43 2014年1月

## 東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話042(739)0491

### 巻頭言

あらためまして、新年あけましておめでとうございます。

私は毎年、年末の大掃除とあわせて、趣味の機械整備に使っている工具の校正作業をすることになっています。精密な計測機器や特殊なレンチのなかには、計測値や力の入り具合が目盛通りに合っているのか確認して誤差を補正する作業が必要です。それを「校正」といいます。本来であれば専門業者に依頼した方がよい作業なのですが、道楽に使う工具ですから自分でやることにしています。とても地味ですが、心静かに丁寧におこなう校正作業が、気持ち新たに迎える新年を目前に、年越しの儀式として気に入っています。

通勤寮では、年末からお正月にかけてロビーに炬燵をだします。帰省しない利用者さんのんびりみかんを食べながら、テレビ番組を楽しむというのが恒例の風景となっています。普段、寮の食事は調理員さんがつくりますが、年末年始については支援員の手作り料理です。

すきやきや鍋を囲んで、なごやかなお正月を過ごしています。

私事ですが、今年でつるかわ学園に入職してちょうど10年になりました。過ぎてしまえばあつという間だったように思えますが、印象に残る出来事をたどっていくと、やはり積み重なった月日の重みをつしりと感じます。そこには、人間と人間の関わりのおかげに、悲喜こもごも、さまざまな発見や驚きがありました。そのひとつひとつの経験が今の私に育ててくれ、良いことも悪いこともひっくり返して無駄なことにはなにもなかったと、しみじみ思います。どんな仕事も同じでしょうが、この仕事においては特に、人間が人間に関わることから始まります。利用者さん同士、職員同士、利用者さんと職員、ご家族、関係者のみなさまなど、あらゆる関わりにおいて、さまざまな価値観、文化、習慣があります。私たちはそんな人間と人間が関わる機会が、その人たちにとってプラスの方向に向かうきっかけになるよう、架け橋をわたすことを生業とするプロフェッショナルです。制度や仕組みが変わっても、そういった根本的なことは変わりません。

年が明けると間もなく、年度末に向けて気忙しい日々になります。己の仕事観、福祉観の校正作業をきちんとおこない、気持ちを引き締めて頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(岩田)

### 全国通勤寮大会

昨年の11月21日から22日の二日間に渡り、青森県弘前市ベストウ

ESTAUN ニューシティホテルにて「第39回全国宿泊型自立訓練事業等（旧通勤寮）職員研究大会」が開催されました。この「通勤寮大会」とは全国宿泊型自立訓練事業等協議会が主催し、全国の障害者訓練施設や知的障害者通勤寮の支援員が一同に集い、情報交換や事例報告を行うことが目的とされています。大会は毎年開かれており、来年度は愛知県が開催予定地で、場所は固定されてはいません。大会の様子について書く前に改めて「通勤寮」についての簡単な説明をしておきます。通勤寮とは知的障害者福祉法にもとづき設置された知的障害者援護施設のことを示していますが、平成24年の4月から国の方針で新体系サービスへと移行し、通勤寮は「宿泊型自立訓練事業」といった名前に変更されました。ものすごく端的に言ってしまうえば、細かなサービス内容の変更や調整を行うために事業名が国の制度によって移行したといったところでしょうか。そういった理由から「旧通勤寮」と呼ばれおり、事業所名を変更した施設もあります。「宿泊型自立訓練事業」への移行はまだ実験段階で、こういった施設で様々な取り組みが日夜試行されています。全国にはまだ「通勤寮」といった名前の施設が多くあり、その中でも利用期間の再設定や作業所の併設などを実行する施設もあるため、変遷の一途を辿っているとも言えるでしょう。

話題は全国通勤寮大会へと戻り、一日目は全国の通勤寮の実践報告を含めたシンポジウムが行なわれました。北は北海道、南は福岡まで様々な通勤寮の支援員の方々が登壇し、それぞれの事業所が抱える問題点や今後の課題などについて討論をしました。その中でも離職ケースについて触れる方が多く、報告を聞いていると作業内容そのもの

ではなく、主に人間関係が原因となっているように感じました。そういった場合は就職前に十分なトレーニングが必要となり、とある支援員の方から「就職は学校側の一つのゴールであって、個人にとってはスタートである」といった意見もありました。

二日目は二つの分科会に分かれて支援困難ケースとその事例報告についての発表となりました。私も通勤寮で起きた出来事について簡単に報告し、発達障害と軽度の知的障害をもつ利用者の生活とその対応について討論しました。その中で虐待やネグレクトが本人の人格を形成する上で大きく影響を与えており、発達障害をもつ方ほどその影響が10代後半になってから現れるといった報告が印象に残りました。加えて、全国の通勤寮の支援員の方から貴重な意見を得ると同時に皆さんが同じような課題や悩みを抱えているといったことがわかり、「支援」を見つめ直す良い機会になったと思います。

今後、新たに制度やサービス内容が変わったとしても、私たちが利用者へ「より良い支援を提供する」といったことに変わりはありません。また、この通勤寮大会の中で就労以外でも生活・地域移行のために多種多様な支援が必要となることを改めて実感した二日間でもありました。

（岩崎）

## 異動について

昨年の12月1日付けで、地域生活援助センターフクシアに異動になりました大槻です。

通勤寮での勤務は7カ月程と短い期間でしたが、とても良い経験をさせて頂きました。今後は、卒業し地域に出る寮生の選択肢の1つでもあるGHでの勤務となります。通勤寮で学んだ事を活かせるように日々努力していきたいと思っています。今後とも、よろしくお願い致します。

(フクシア・大槻)

このたびフクシアより異動してまいりました山内康紀です。短いながらもグループホーム支援での経験を生かせればと思っております。パワーアップ(体重もアップ)して戻ってきましたので宜しくお願い致します。

(山内)

## ボウリング大会

12月21日(土)に年忘れボウリング大会・忘年会を開催しました。ボウリングは、お馴染みの町田ボウリングセンターにて行い、今回も寮長杯トロフィーと賞品を賭けた戦いが繰り広げられました。

開会宣言後から徐々に寮生の活気もヒートアップし、好プレー・珍プレーが炸裂しました。スコアを争う寮生の目は本気そのもので、上位3名のハイスコアは男性職員も手が上がる程でした。そうと思えばあまりスコアが伸びず、諦めてアイスに手が伸びる方もちらほら。(あとで嫌と言う程食べられるのに…と内心では思っていました)がここは職員もグツと我慢。(皆さんそれぞれ楽しめたようです。



ボーリング場にて開会式



毎回皆さんの食欲には驚きます…!

忘年会は、寮生・職員からも大好評だった東林バーベキューへ。ボウリングセンターから送迎バスに乗り込み、空腹も絶頂に達したところでバイキングスタート!何種類もの肉に群がる方もいれば、最初からデザートを食べ始める方もいました。バイキングの楽しみ方も人それぞれ違って良いのかもしれませんが。

会食中にボウリング大会の表彰式を行いました。上位3名と女性1位にはクオカード、チーム対抗の優勝チームにはお菓子セットを贈呈しました。

今回も寮生間、職員との交流を大いに深めることができる良い機会となりました。次回は8月に乞うご期待!

(柄本)

## クラブ活動

昨年の11月24日に第4回目・12月29日に第5回目のクラブ活動を実施しました。

第4回目は男性2名、初参加の女性を含む女性2名の計4名の参加となりました。

お花は①銀香梅②スプレーマム(菊)③すかしゆりの3種。

それぞれ基本の見せ方を教わりながら奥行や空間を意識して綺麗に仕上がりました。

お茶はお茶菓子に落雁が出され、女性の一人からの質問もあり砂糖と麦こがして作ったもので長野県の小布施の有名なお菓子であることを教えて頂きました。

お茶で使う器は土で出来たものと石で出来たものがあり、石で出来たものは温度が高温でないと出来ない、瀬戸物は愛知県瀬戸市が発祥であることなども教わりました。

第5回目は年末と言う事で帰省される方も多く、いつもより静かな通勤寮でしたが、途中参加を含む3名が参加しました。

お花は①若松②やなぎ③菊④千両の4種を使ってお正月用の豪華な仕上がりになり、玄関と食堂を華やかにしてくれました。

お茶はいつもながら立札(椅子での作法)で美味しいおまんじゅうとお茶を先生のお話(畳の席で足がしびれない座り方など)に耳を傾けながら聞いていました。

普段あまり関わることのない寮生同士が、クラブ活動を通して協力し、助け合いとても良い経験になったようでした。

(浅田)



11月のクラブ活動の様子



玄関に飾り正月を迎えました

## 地域生活講座

昨年11月23日(土)に地域生活学習を行いました。今回はグループホーム世話人の中屋さん、GHの利用者さん2名に来て貰い、フクシアの谷本主任がインタビュする形でグループホーム生活について1時間講座を設けて話をしました。冒頭は中屋世が用意した資料を見ながらGH生活について説明して貰い、通勤寮の利用者さん達は資料を見ながら聞き入っている様子でした。「GHは通勤寮と違い、4〜5人程度の小人数になるので、決められたルールや掃除当番などをきちんと行わないと寮内で浮いてしまい、寮に居ずらくなってしまう」等、場所が変わっても決められた事をやる事が大切と毎年言われている事ですが、現場の世話人さんから改めて話を受け、利用者さんそれぞれで感じる事もあったのではないのでしょうか。

その後はGHの利用者さん2名より「寮イベントを皆で話し合っ



決めてます」「困った時は世話人さんに相談に乗ってもらってます」  
「GHで結婚生活をしているので、家事を頑張ってます」「お金は油断すると使い過ぎてしまいます」等、生の声を聞きました。事後のアンケートでは「GHに興味を持ちました」「GHに行きたくなりました」「通勤寮とGHの違いが分かりました」等々、肯定的な感想を書いてきた方が多数いました。

前回は日曜日の昼間に行ったので欠席者が多く、担当者間で日時の調整をしていこうと検討していましたが、今回は夜間に行ったので欠席者も3名だけでした。次回は寮見学を予定しております。

(青木)



GHを知る良い機会になりました。

### 年末大掃除

毎年、利用者・職員の方々には、12月に入ると普段取り掛からない場所を中心に掃除をしていただいております。

今年もそれぞれ場所を決めて、皆さんに頑張ってもらいました。去年も活躍していたKARCHERは今年も大活躍でした。

(埴谷)



高圧洗浄機で網戸の掃除も!



隅から隅まで掃除しました。

### 年末・年始

今年の通勤寮の大晦日は柄本と岩崎で担当しました。夕食準備を利用者さんに手伝ってもらいながら、年越しそばとすき焼きを食べました。大晦日から三が日まではロビーにこたつを出し、その場でカウントダウンをしながら過ごすのですが、皆さん、今年はテレビ番組に集中していたのか、静かに過ごしていました。元旦の朝はお雑煮とお節料理を振る舞い、中には三回お代わりをして5個もお餅を食べる人

も…！夕食の様子は山内から。

元日の夕食は焼肉と寿司！山内が担当すると食材を買い過ぎるとの悪評がありますが、御期待通りにガッツリ！買いも買ったり牛肉5キロに握りずし百貫、ソフトドリンク10リットル！しかし受けて立つ利用者もそれを次々と消化。割り当てられた量をほぼ食べ尽くしています。ちなみにソフトドリンクはお茶だけが残っていました。

2日の朝もおせちとお雑煮。西日本では味噌仕立ても珍しくなく、再現してみました。この日の朝は寒かったこともあり「あつたまるー」と喜んでくれた人もいて、作り甲斐がありました。皆が朝食を終える頃、テレビの中では箱根に向かって一斉にスタートの音が響きました。

3日の夜は鉄板焼き。お好み焼きにたこ焼き、焼きそばと「粉もの」のオンパレード。しかし：「なんかこのお好み焼き、水っぽいよ？」そんなはずは…あっ！水の分量が間違ってる！ただし「もんじゃ焼きだと思えば結構イケる」との声に救われました。お腹にたまるメニューだったゆえか早期離脱も続出していました。

3日の夜にはこたつが撤去されました。7日には正月飾りも外され、鏡開きを経てどんど焼きの煙となって消えました。「なんだか普通に戻っちゃったね」その非日常と日常の違いこそが正月の醍醐味かもしれませぬ。

(岩崎・山内)



大晦日の食事の様子。



元旦に中山世話人による獅子舞も！

## フクシアから

地域生活援助センター「フクシア」を改めてご紹介したいと思えます。

現在64名利用者さんが地域生活をしています。大半が通勤寮の卒業生です。

複数の利用者さんに「GHと通勤寮ではどちらがいい？」との愚問をぶつけると、ほとんど「GHの方がいい」との返事でした。理由を聞くと「自由の時間が多くある」との答えが圧倒的で、中には「将来は一人でアパート生活をしたい」といった前向きに将来の希望を話す方もいました。しかし、通勤寮とは異なり金銭的な部分ではかなり厳しい現状があります。家賃・光熱水費・共益費・食事代等すべてが自己負担となるためですが、利用者さんにとっては「地域参加」との意識があり、自信にも繋がっているようです。

今後も「フクシア」を利用される方は増加の一途となることは間違いない、受け入れ側である「フクシア」としても、平成26年度より

大幅な事業所編成を行う予定で、万全な体制をより強固なものにして  
いきたいと考えています。

今後の「フクシア」に期待してください。

(フクシア・市川)

### 新年の抱負

毎年恒例となった通勤寮・フクシアの職員による新年の抱負となります。

岩田…安全登山。

三階…原点、継続、リスタート

埴谷…初心に戻る。

山内…ラーメンの汁は残す。

柄本…浪費癖を直す。料理を覚える。

浅田…買いだめした本を読む。

青木…三度目の肺炎にならないように注意する。

岩崎…パン工房もくもく店二号店開店。

東田…今年は物欲を捨て物を買わない！そして必要のない物は捨て  
ます！

大場…去年は富士山に登る事が出来たことに感謝！人生の糧として  
仕事に励みたいと思います。下の子が20才を向えた事がとても  
嬉しいことです。寮生も自分の子と同じように厳しく時には  
優しく共に成長して行きたいと思います。

鈴木…今年も遊びに磨きをかけ、もう少し心に余裕を持ち、立場を考  
えつゝ、寮生を見守っていききたいと思います。

高田…去年出来なかった事を一步一步達成できるように頑張って行  
きたいと思います。

津田…今年も美味しく食べて頂けるように衛生面に気を付けて頑張  
ります。

佐藤…業務は基本に忠実に事故なしで、唯、寮生の成長を祈るばかり  
です。

石原…健康に注意して警備も無事故で頑張ります。

市川…改革！

谷本…日々新。

秋本… All the impossible I wanna do.

大槻…すべての事においてレベルアップ。

上妻…心身ともに強くなれるように精進する！（出来れば空手を習いたい）。

大矢…おだやかに、着実に。

### 今後の予定

- ・ 1月26日（日） 新年会・成人式
- ・ 2月22日（土） ソフトボール練習（南成瀬小学校）
- ・ 3月2日（日） 福祉マラソン（皇居・桜田門）
- ・ 3月9日（日） 保護者会

### 編集後記

今月の記事にもあるように昨年は11月に青森で全国通勤寮大会に参加し、12月には新潟県燕三条にて宿泊型自立訓練事業等協議会職

員研修に山内と一泊二日で参加しました。研修と聞いていたので、全国通勤寮大会のようにシンポジウムが開かれると思いついていたのですが、一日目は現地で地上産品の視察をするため、地域物産展メッセピアへ行き、その後は三条鍛冶道場にて包丁作りと大変趣のある（？）研修でした。（二日目に研修と情報交換会が開かれました。念のため）。

机に向かって登壇者の話を聞くだけの研修とは異なり、今回は燕三条といった地域を十分に知ることが出来ました。研修主催の新潟県三条市長久の家・飯塚所長が三条鍛冶道場で包丁を研いでいる際に「自分が心を込めて包丁を研げば良い包丁に仕上がる」と仰っており、その背景には「支援員の努力次第で利用者も力を発揮することができる」といった意味が隠れているようにも感じました。また、今回の研修で「地域」と「福祉」の関係性が自分なりに少しわかったような気がします。長久の家の職員の方々にも大変お世話になりました。

これから寒さがより厳しくなります。皆様ご自愛ください。

（岩崎）



鍛冶道場にて包丁作り



燕三条メッセピア